

事業の概要

【実施背景】

- 群馬県では、県選挙管理委員会と県内全大学等とで「主権者教育を推進する群馬県大学コンソーシアム」を設立。本コンソーシアムにおいて有志の学生からなる若者啓発グループが活動しているが、その活動は県選挙管理委員会が主導することが多く、“主体的に啓発活動を行うグループ”へと育成することが課題となっていた。

【事業内容】

- 若者啓発グループが予算という切り口から県職員や県議会議員へのインタビュー等を通じ、議会の役割を知り、考えた。
- その経験を踏まえ、若者啓発グループが高等学校での選挙授業の内容を検討し、4校で授業を実施。

【事業実績】

事業費 82千円

〈県HP〉 <https://www.pref.gunma.jp/page/658281.html>

事業の効果、今後の展開など

- 本事業をきっかけとして、選挙授業の実施主体となる学生団体(サークル)が一部大学で組織されたこと、授業に活用できる授業教材が作成されたことにより、大学生が主体的に選挙授業を実施していく基盤ができた。
- 今後は、この活動を発展させ、県内大学に広く波及させていく。